

## 「ビジネス情報」学習指導案

日時 令和4年2月8日(火) 1校時  
場所 2棟1階パソコン室  
情報処理科2年ビジネス情報コース  
(男子3名 女子12名 計15名)  
指導者 教諭 坂口 純

- 1 単元名 ビジネス情報 第3章 表計算ソフトウェアの活用
- 2 教科書 ビジネス情報新訂版(実教出版)
- 3 副教材 Excelで学ぶプログラミング(実教出版)
- 4 単位数 4単位
- 5 指導目標
  - (1) Rangeオブジェクトの使用方法について理解させる。
  - (2) 各プロパティ(Interior, ColorIndex, Font)の活用方法について理解させる。
  - (3) プログラムの意味を理解し、適切に活用していく能力を身に付けさせる。
- 6 指導計画 手続きの自動化(16時間)
  - (1) 手続きの記録と実行 4/10時間(本時)
  - (2) メニューの作成
  - (3) 相対参照での記録
- 7 小単元 第4項 手続きの自動化
- 8 本時の目標
  - (1) プログラミングについて学習する。
  - (2) マクロ言語の活用方法について学習する。
- 9 生徒の実態 大人しく落ち着いた生徒が多い。授業に意欲的に取り組む生徒が多いが、発問等に対しては反応に乏しい面がある。全商情報処理検定2級(ビジネス情報)学んだ生徒と9月に2級を取得し、1月に全商情報処理検定1級(ビジネス情報)を受験した生徒であり、情報処理の学習に対する興味関心は高い。次年度は選択科目でプログラミングを学ぶ生徒もあり、今回の授業をとおして基本的な活用方法や利用方法を学ばせるとともに、興味関心を持って次年度の学習につなげていきたいと考える。

10 本時の展開

過程	時間	学習内容と学習計画	指導上の留意点	評価等
導入	10分	1 前時の復習	<p>○前時の復習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マクロ言語の使用について確認・準備 (教科書P 1 1 5)</li> <li>・Interior プロパティ</li> <li>・ColorIndex プロパティ</li> <li>・Font プロパティ</li> <li>・練習問題 1-1 Step 4</li> </ul>	○前時の学習内容が定着しているか。【知識・理解】
展開	30分	<p>2 本時の学習内容</p> <p>(1) 説明(5分)</p> <p>(2) 演習(25分) ・机間巡視</p> <p>(3) 発表(5分)</p>	<p>○練習問題を活用したプログラムの作成演習内容について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント配布</li> </ul> <p>○前時の学習内容を活用し演習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の誕生日にあたる星座を選ぶシートに表現してみよう。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 図の中から星座を選ぶ</li> <li>② プリントを活用しどの位置に“★”を配置すれば良いか考える</li> <li>③ ②のプリントを参考に範囲を指定しボタンクリックと同時に星座が表現されるプログラムを作成する。</li> <li>④ 元の画面に戻る様、削除のボタンも作成する。</li> </ol> <p>○発表を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成した作品を紹介する。</li> </ul> <p>○保存する (教科書P 1 1 6)</p>	<p>○本時の内容に興味関心を持つことができたか。【関心・意欲・態度】</p> <p>○目的, テーマ, 方法について理解できたか。【知識・理解】</p> <p>○マクロ言語の作成方法について理解できたか。【知識・理解】</p> <p>○演習の課題に沿ってシートに作成できたか。【技能】</p> <p>○実際に使用する場面を考え, 取り組む事ができたか。【思考・判断・表現】</p> <p>○他の作品を確認する事で, 自分の取り組みを振り返る事ができたか。【思考・判断・表現】</p>
終末	5分	<p>3 本時のまとめ</p> <p>4 次時の予告</p>	<p>○本時の学習内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マクロ言語を活用したプログラムの方法を再度確認する</li> </ul> <p>○InputBox を活用したプログラムの作成方法について説明する</p>	○本時の学習内容を理解することができたか【知識・理解】

11 本時の評価

【関心・意欲・態度】

マクロ言語を活用したプログラミングを理解, 実践しようとする意欲がある。

【思考・判断・表現】

プログラミングの文法や方法を理解し, 自ら判断し活用することができたか。

【技能】

マクロ言語を活用したプログラミングを実践することができたか。

【知識・理解】

マクロ言語を使用したプログラミングの方法を理解できたか。